



No.14

柏市政や柏市の出来事についてご報告します。

山下洋輔新聞

柏市議

無所属

36歳

ボランティア募集！

山下洋輔は、クリーンな政治を目指しています。皆様のお力が必要です。この新聞を配布してくださる方を募集しています。散歩がてら、ご近所だけなど、何枚でもかまいません。地域をよりよくするため、一緒に活動しましょう。

2015年1月15日

市議会議員は、どんな活動をしているか。どのような考え方で、活動しているか。報告していきます。

○ 小学校の中にある老人デイサービスセンターを視察

野田市立岩木小学校の中に設置された老人デイサービスセンターを視察しました。小学校の空き教室を活用し、老人デイサービスセンターとして活用されています。昼休みには小学生が遊びに来るなど、定期的に小学校と交流しています。高齢者は小学生から元気をもらい、小学生は高齢者から知恵や経験を学ぶ。核家族化した地域では、特に、貴重な機会です。



実は、柏市でも、富勢東小、土小、柏六小の空き教室で、老人デイサービスセンターが開かれています。しかし、利用率が伸びず、小学校の改修などを機に廃止されたとのこと。

人口減少の時代、小学校の空き教室や空き家などを、地域の居場所作りや異世代の交流の場などで活用するアイデアを柏市に提案していきたいと思います。

写真 視察。鈴木有・野田市議会議長がご同行ください、お考えや野田市の状況についてご説明頂きました。

○ 学力向上を目指す教育を視察

—スクール・ソーシャルワーカーと放課後学習支援を議会で提案

「一人も見捨てない教育」という目標を掲げ、学校現場、行政が一丸となって取り組んできた大阪府茨木市を視察しました。

学力テストの結果を分析し、放課後学習支援やスクール・ソーシャルワーカーなど学校現場が必要とする支援を行ってきました。スクール・ソーシャルワーカーとは、学校だけでなく、家庭、地域など子どもたちを取り巻く環境の調整を図る専門家です。

学校だけでなく家庭や地域で、子どもたちが安心・安全な生活が送ることが出来なければ学力どころではありません。いじめ、貧困、家庭内暴力など様々な事情で、不登校や学校内外における問題行動を引き起こすなど、子どもが抱える課題は複雑化しています。

目を引くような、受けの良いものではありませんが、地道に、しっかりと取り組んでいる事例です。柏市の教育委員会とも、共に研究し、柏市の教育にも反映させます。

山下洋輔のプロフィール

1978年4月生まれ。36歳。

東葛飾高校卒業。早稲田大学教育学部卒。同大学院修士課程修了後、土浦日大高校にて教諭。早稲田大学大学院教育学研究科博士課程を単位取得後退学。

「柏まちなかカレッジ」学長として市民大学を主宰し、地域の教育・文化を盛り上げている。

【趣味・特技】歴史散策、剣道（三段）、絵画、カポエイラ、三線、バイク、JAZZ鑑賞

【家族】妻、長男（2014年生まれ）

※タイトルのイラストは、『ひとりごはんの背中』（講談社）で著者の能町みね子さんの取材を受け、描いて頂いたものを使用しています。

柏まちづくり俱楽部開催（毎月最終木曜日19時～）

参加ご希望の方は、ご連絡ください。
連絡先は裏面に記載しています。

○山下洋輔、12月議会での質問。

教育

子育て

農業

文化

環境

行政改革

山下の質問	柏市の答弁
山下の視点 子どもを取り巻く環境は複雑になり、問題は増えるばかり。教員の多忙化やベテラン不足のため、子どもの家庭や地域から支えていくには専門家の力が必要。学力向上にも効果が大きい。	子どもを取り巻く環境を支援するスクール・ソーシャルワーカーの導入を ▶ 必要性を認識している。次年度の配置を検討する
山下の視点 放課後の学習支援は、教育格差の解消だけでなく、学校全体の学力向上に役立つ事業であると全国で注目されている。	放課後子ども教室の実施校や対象学年の拡大を。地域の力も借りるべき。 ▶ 増やす。地域の協力を得て進めていきたい。
山下の視点 特に教育論は、主観的な議論で、意見がかみ合わないことが多い。教育費削減のためではなく、教育に十分な予算を投資するためにデータをもとに検証すべき。	エビデンスに基づいた教育政策の判断ができているか。 ▶ 重要だと考える。教育政策の効果を測定し、検証結果を予算に効果的に生かしていく。
山下の視点 子どもたちの居場所や学習支援を図書館が担うことで、世代間交流や地域で教育を支える体制を構築できる。	図書館に小中学生向けの本や学習支援のサービスを。 ▶ 図書館と学校の連携を進め、図書館でも支援していきたい。
山下の視点 待機児童解消だけでなく、「助けて」と言えず育児に悩む親を助けるためにも一時保育は大切な事業である。	親のリフレッシュのためにも活用できる一時保育の拡充を。 ▶ 検討する。気軽に相談できる場所や体制は作っていきたい。
山下の視点 柏市は、街と生産地が近く、環境に恵まれていることが強みである。教育にも良い効果が期待される。もっと生かすべき。	親子で遊び、体験できる農園の取り組みを。 ▶ 耕作放棄地などを活用して、積極的に進めたい。
高齢者の体験を伝える世代間交流の場作りを。	手賀沼周辺で農業の拠点を作り、そこで実現させたい。
生産者と消費者をつなぐ飲食店や交流の場を。	地産地消を進めていくために、積極的に進めたい。
山下の視点 柏は県内でも随一の文化財を持つが、史料が死蔵されている。しっかりと保護し、活用していくシステムを作るべき。	文化財である史料をデジタル化し、災害に備え、市民と協働で翻刻作業を ▶ デジタル化は必要と考える。市民との協働も重要。
山下の視点 地球温暖化は行政のあらゆる事業に関わるもの。一つの部署で担うのでなく全体で。	組織を横断して取り組むための体制づくりを。 ▶ 担当部だけでなく、各課が連携して、施策を進めていく。
都市計画的な視点で柏市建築物環境配慮制を活用し、地区単位での導入を。	都市計画的な視点で柏市建築物環境配慮制を活用し、地区単位での導入を。 ▶ 地球温暖化対策は重要課題。制度の普及に努めたい。
山下の視点 無駄な残業代やサービス残業の懸念。職員や部署の業務実態を洗い出し、出退勤データを改善のために活用すべき。	職員の残業についてタイムカードのデータを分析し、業務の改善を。 ▶ 指摘の通り取り組みたい。
山下の視点 公用車の事故はあってはならない。先進事例を取り入れるべき。	ドライブレコーダー活用した具体的な取り組みは。 ▶ 企業と協働で、データを分析し、研修を実施。地域の事故抑制にも活用する。



今なお根強い新図書館を求める声 –地域文化の拠点となる図書館を！

柏駅前の再開発ビルの工事は進むが、図書館が入る計画はない。今なお、新図書館を求める市民の声は根強い。新図書館建設には、お金がかかるのは事実である。しかし、現在の中央図書館を改修するにもお金はかかる。ゼロベースで考え直すべき問題であることは確かである。

徳島市では、大型デパートが入った駅前ビルの空きフロアに図書館を移したこと、デパートや駅前が活性化したという。「新しく建設するか、改修するか」だけが選択肢ではないのだ。図書館が、地域の活性化の拠点となると認められてきている。子育て支援や学校教育支援、生涯学習や市民活動、世代間交流、そして地域文化の拠点といった、読書活動だけにとどまらない図書館機能が期待されている。公立の図書館が地域でどのような役割を果たすべきか、建物そのものや蔵書の意味も考え直していかなければならない。

山下から一言

市内の小学校の授業でお話しする機会を頂き、小学生からご提案頂いたアイデアを議会の質問に取り入れました。図書館と農業に関する質問です。自分の考えが、政策にも反映されることを実感してもらい、これから積極的に社会参加する市民に育ってほしいと思います。

連絡先 TEL:04-7170-0668 FAX:03-6745-9416(※eFaxを使用) Mail: info@y-yamasita.com

以下、山下の活動や考えたことを報告しています。山下の日常の記録です。ご感想やご意見もお寄せ下さい。

[twitter] @yosukekeyama [facebook] http://facebook.com/yosukekeyama [HP] http://y-yamasita.com